



～フェスタmy宇都宮2024～へ参加しました

5月19日(日)宇都宮城址公園を会場に開催された「フェスタmy宇都宮2024」

当日は天候にも恵まれ300名を超える市民のみなさまに連合会ブースにお越しいただき、新規会員加入促進を目的とした連合会の啓発活動を中央地区の会員の方々のご協力のもと行いました。



連合会ブース



ご協力いただいた中央地区の会員の皆さん



輪投げ体験コーナー

「令和6年度能登半島地震災害義援拠金」報告

令和6年1月に石川県能登地方を震源とする地震が発生したことにより、全国老人クラブ連合会より救援拠金への取り組みの依頼を受け、当連合会としても取り組むことになりました。1月25日から4月10日の期間を第1次取りまとめ期間として設定し、各地区連絡協議会を通じて各单位クラブに協力を依頼してお預かりした救援拠金1,601,466円を4月16日に栃木県老人クラブ連合会へ送金させていただきましたことを報告いたします。

こちらの救援拠金は栃木県老人クラブ連合会、全国老人クラブ連合会を経て日本赤十字社へ送金となり、被災救援法が適用された県(石川県、富山県、新潟県、福井県)および指定都市老人クラブ連合会に届けられ、被災地の老人クラブ及び老人クラブ連合会の救援や被災地域の救援等に活用されます。

皆さまの温かいご厚意・ご協力に感謝申し上げますとともに、被災された方々が一日でも早く日常の生活を取り戻していただき、被災地の復旧・復興がなされることを心よりお祈り申し上げます。



能登半島地震による甚大な被害状況



おいちょう宇都宮 「グラウンドゴルフ大会」報告



開催日 6月7日(金)

会場 宇都宮市屋板運動場

参加者 団体戦 25チーム(150名)
個人戦 110名

【結果報告】

○団体戦

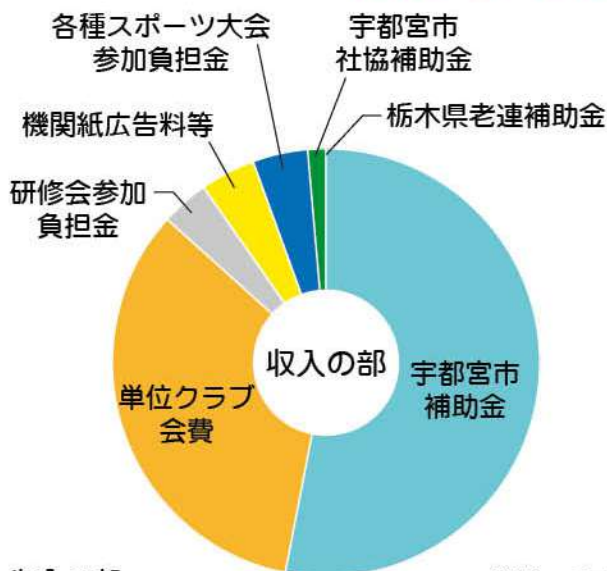
優勝 雀の宮下町寿会(雀宮)
準優勝 弥生会(河内)
第3位 仁良塚仁宝会(国本)

○個人戦

優勝 五十嵐正英(河内)
準優勝 大野孝子(姿川)
第3位 松本敬三(雀宮)



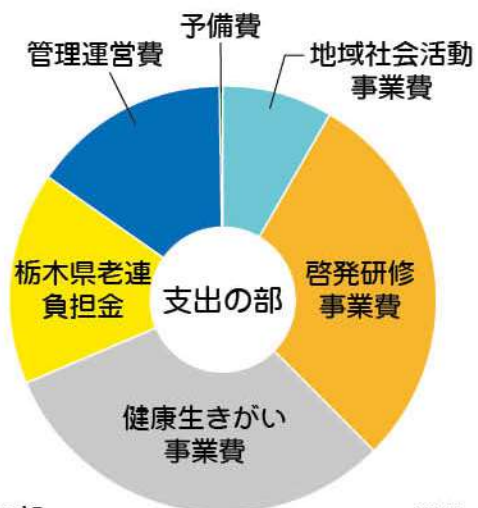
令和6年度の予算内容



収入の部

(単位: 千円)

科目	予算額	科目	予算額
宇都宮市補助金	4,715	各種スポーツ大会参加負担金	374
単位クラブ会費	2,985	宇都宮市社協補助金	100
研修会参加負担金	320	栃木県老連補助金	18
機関紙広告料等	371	合計	8,883



支出の部

(単位: 千円)

科目	予算額	科目	予算額
地域社会活動事業費	761	栃木県老連負担金	1,414
啓発研修事業費	2,572	管理運営費	1,344
健康生きがい事業費	2,782	予備費	10
		合計	8,883



“桜まつり”を地域を上げて開催

中央地区老人クラブ連絡協議会
会長 銅谷 千賀子

桜の便りを耳にすると心が弾みます。中央地区老人会は宇都宮城址公園で桜まつりを10年前から毎年開催してきましたが、この4年間はコロナのため中止となっていました。今年こそは開催して欲しい！という声が聞こえてきましたが、この4年間のブランクは大きく、体力の衰えは否めず「老人会単独で開催するのはむずかしいどうしよう…」と悩んでいましたところ、その思いが連合自治会に届き、各種団体（社協・体協・中子連・民児協・福祉協力員・助けあい協・茶道クラブ）の方々が協力して下さり、連合自治会主催で盛大に3月31日に開催することが出来ました。

当日は晴天に恵まれ、140名程が集い、連合自治会長の挨拶の後、オカリナでさくらさくらの独奏、ハーモニカの伴奏で春の歌の合唱等、数々の催し物に加え、野点、豚汁の提供、そして多くの方々から資金援助があり、中央地区の団結力と支え合う心の強さを感じ、感謝の気持ちで一杯でした。

中央地区には自治会は26自治会ありますが、老人会が存続しているところは5自治会のみです。近年入会者は少なく高齢化するばかりで、会長のなり手がないため存続が危ぶまれているクラブもあります。一方で、入会したいがクラブがない、クラブ員でないと参加出来ないのかという声も耳にしてきました。誰もが幸せに楽しく過ごすことが望ましいと思う時に、地域全体で協力し支え合うことの必要性を感じるのです。

時代の流れと共に考え方も変わって来ている昨今、老人会のあり方も一考する必要性を感じてなりません。



宇都宮城址公園で行われた桜まつりのようす



「楽しく地域の社会活動」

上河内地区 原組長寿会
会長 斉藤 光男

原組長寿会は平成22年に結成されたクラブで今年で14年目を迎えました。世帯数530戸の大きな自治会で、今年度は74名でのスタートとなりました。

会則の目的に「生活・地域を豊かにする活動を行う」ことを掲げ、年間を通して楽しく活動を行っています。ここで活動の一部を紹介したいと思います。

- お茶会の開催
毎月定例で開催しています。飲んで！食べて！歌って！運動して！
会員同士和気あいあい親睦を深めています。
- 親睦旅行
年に1回、春時期に日帰り旅行や近郊の行楽地に行っています。
- スポーツ事業
春・秋時期の年2回、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会を行っています。
- 忘年会・新年会の開催
- 奉仕活動
地域の公民館や神社・道路等の除草、育成会の手伝いを行っています。
- 地域貢献活動
上河内地区のお祭やどんど焼きにおいて模擬店を出店します。

これらの多種多様な事業を行っているもののここ数年、会員が減少傾向となっています。新規会員の加入促進運動を行うとともに、これらの活動がこれからも続けられるよう頑張っていきたいと思っています。



奉仕活動のようす



定例会で和気あいあい！

「歌って話して健康増進」

清原地区 道寿会
会長 石川 裕夫

道寿会は、昭和45年に結成されたクラブです。今年で54年目を迎えました。

私達道寿会は、清原地区連で実施している事業に加わり活動しております。

清原地区市民センターのホールにて輪投げやグラウンドゴルフなどの軽スポーツ事業に参加しない方を対象とした「歌声ひろば」という会があります。年4回、時間は1回あたり約2時間です。うち2回は三好 創先生のアコーディオン伴奏、あとの2回は地元会員のハーモニカ倶楽部員の伴奏に合わせて「楽しく」「元気に」歌ったり、脳トレや日常の出来事などの情報交換などをして会員同士楽しんでいきます。

コロナ禍の時期は密を避けるために人数制限を設けて開催したり、やむを得ず中止とする状況でした。現在は制限することなく実施していますが、コロナ禍前の参加人数には戻っていません。私達高齢者は、可能な限り外出を心掛け行事に参加したり、会話を楽しむなどして心身ともに健康を維持できるよう努力していきたいものです。



歌声ひろばの風景

交流広場



「いつもわいわい元気な仲間」

緑が丘地区 双葉1丁目長寿会
会長 岡田 米男

双葉1丁目長寿会は栃木県総合運動公園の北側に位置しています。

昭和44年に結成されたクラブで今年で55年目を迎えました。会員同士「元気に」「助け合い」をモットーに楽しく活動しています。

昨年度からコロナの影響が緩和されたこともあり、総会開催においては多くの会員の参加がありました。総会後に実施した懇親会も久しぶりに顔と顔を合わせた交流が出来ることに喜びを分かち合い、一層絆が深まりました。

私達のクラブには輪投げクラブがあります。毎週2回定期的に練習に励んでいることもあり、各種大会において常に上位の成績を取っています。地区の児童との交流事業ともなっている「こども輪投げ大会」においては世代を超えた和気あいあいの大会で、児童から「どう投げれば入るの?」と質問を受けて投げる際のコツを教えます。投げて入った時の児童の嬉しそうな顔や楽しさを噛みしめ「次の大会もまた参加したい!」という言葉が大きな励みとなっています。

また、社会奉仕活動にも積極的に取り組んでいます。年に4回、地区の近隣道路や公園の清掃や除草、選定作業などを行っています。

その他、会員を2班に分けて、地区の自治会館でカラオケを楽しんでいます。

これからも「元気に」「助けあって」「楽しく活動」できる長寿会でありたいと願っております。



懇親会カラオケ風景



地域児童との輪投げ交流会

ご存知ですか? 老人クラブ会員向けの傷害保険・賠償責任保険のご案内

いきいき活動を支える 老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心保証

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。

< 資料請求受付期間 > 【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

老人クラブ 傷害保険 自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)

- ①対象：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
- ②保険始期月および保険期間：年に2回の募集となります。

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
2024年10月	2024年7月15日～9月15日まで	2024年10月1日午後4時から1年間
2025年4月	2025年1月15日～3月15日まで	2025年4月1日午後4時から1年間

- ③補償範囲・掛金タイプ：◆24時間型…日常生活全般のケガを補償。
自転車事故を含む個人賠償責任補償や地震・噴火・津波補償、熱中症危険補償が付いたタイプもあります。
- ◆活動型…老人クラブ活動中のケガを補償

老人クラブ 賠償責任保険 他人の物を壊したり、ケガをさせた時^{※1}の保険。(自分のケガは対象になりません。)

- ①対象：単位老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ②保険期間：毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④補償：支払限度額1億円

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

加入申込書等資料請求先 専用 FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス hoken@senior-ltd.com
(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768
(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

受付時間 9:30から12:00まで
13:00から17:00まで
(土、日、祝祭日、年末年始休)

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。
【老人クラブ傷害保険】
老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(傷害補償)
【老人クラブ賠償責任保険】
施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険
ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

部会活動報

頑張ったクラブに栄冠を

総務部会
部会長 新島 哲



新島 哲 部会長

総務部会は8名(うちオブザーバー1名)の部会員で担当しています。理事会で協議中、突然ながら桶田会長の下命がありました。「総務部会で表彰制度を見直してほしい。」この時から総務部会は、他の所管事項に優先し「加入促進運動表彰基準」の見直しに取り組みました。

それから8か月後、正副会長会議に部会の成案(会則の一部改正案)が上程されます。果たして理事会での議論の意図を反映できているのか、説明しつつも不安が募ります。各地区の単位クラブにおいては会員が減少しており、現在の会員数を維持するだけでも困難な状況にあります。その中で、新規会員加入促進運動の成果をどう評価するのか？

部会の成案は、まず「但し、前年度当初の会員数を下回らないこと」という現行の規定を削りました。対応が難しい会員数減少という現実を踏まえ、頑張った成果に焦点を当てて評価する仕組みにしたのです。せっかくの努力を無にしないための対応でした。

次は、加入者数を何名にするかです。議論を重ね、「新たに加入した会員が5名以上」としました。現行の「10名」は、年間の奮闘で成果が得られる稀なケースと考えられるため、より多くの単位クラブが表彰該当となり、モチベーションの上がる基準に改めました。

こうして、御下命のあった成案の報告に至りました。今後の総務部会は、魅力あるクラブづくりに加え、クラブの存続や役員後継者の育成など、多くの課題に取り組む必要があるものと思われまます。成就のために皆さんの応援を心からお願いいたします。

宇都宮市老人クラブ連合会 加入促進運動表彰基準

(表彰の対象) ※抜粋

改正前

第2条 表彰の対象は、次の基準に該当するものとする。

(2) 単位クラブ

①年度当初(4月30日まで)の会員のうち、前年5月以降、新たに加入した会員数の割合が1.5%以上又は1.0名以上の単位クラブ。
但し、前年度当初の会員数を下回らないこと。

②当連合会に新たに加入した単位クラブ。



改正後

第2条 表彰の対象は、次の基準に該当するものとする。

(2) 単位クラブ

①年度当初の会員のうち、新たに加入した会員が5名以上の単位クラブ。
ただし、2.6名以下の単位クラブにおいては、新規加入者数の割合が1.5%以上の単位クラブ。

②当連合会に新たに加入した単位クラブ。

魅力ある連合会活動の発信

広報部会
部会長 川人 四郎



川人 四郎 部会長

広報部会は年に3回発行する機関紙「いちょう」に関する掲載記事の考案や校正作業、発送作業の補助及び編集後記の原稿作成等を10名の部会員が輪番制で担当しています。

また、大きな連合会事業である軽スポーツ大会、老人クラブのつどい(式典、サークル活動発表会、作品展覧会)の記録写真撮影業務も行っており、機関紙に掲載している写真の一部は広報部会員が撮影したものです。

なお、機関紙に掲載する広告等においても募集しておりますので、希望がある際には連合会へお問い合わせください。

今年度も会員の皆様分かりやすく興味を持って読んでいただけるような「機関紙いちょう」にすべく心掛けていきますので、どうぞよろしくお願いたします。



機関紙いちょう発送作業のようす

告 ~令和6年度のこれから~

人生100年時代に向けての健康増進

健康部会
部会長 中澤 明



中澤 明 部会長

健康部会は、軽スポーツ大会（グラウンドゴルフ大会・輪投げ大会・ペタンク大会）の運営協力において9名の部会員で担当しています。

令和5年度の活動について報告いたします。

グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会の会場準備、参加者の受付業務を主に担当しました。会場準備は、限られた時間内での設営となることから部会員のみでは無理があるため、職員の方々とともに行いました。

今年度のグラウンドゴルフ大会は各地区の単位クラブの現状を考慮し、個人戦での参加枠を設定して会員のみなさんが参加しやすい取り組みを行いました。

8月に開催予定の輪投げ大会やペタンク大会においても会員の皆さんが「気持ちよく」「楽しめる」ような大会にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



グラウンドゴルフ大会の受付や輪投げ大会の会場設営準備を行っています

明るい健康長寿社会の実現に向けて

教育福祉部会
部会長 宮田 光進



宮田 光進 部会長

教育福祉部会は、老人クラブのつどいや文化系事業講習会の事業協力において8名の部会員で担当しています。

令和5年度の活動について報告いたします。

○老人クラブのつどい

式典：
会場準備、表彰受賞者等の受付業務に従事しました。

作品展示会：
作品展示品の飾り付け準備補助、展示会の来場者受付に従事しました。

サークル活動発表会：
会場準備、発表会の司会進行、普段ではなかなか経験することがない裏方での音響操作等に従事しました。

○文化系事業講習会：
「緑化」をテーマに掲げ、多肉植物寄せ植え講習会を開催しました。

会員の減少に伴い年々参加者が減少傾向となっています。多くの会員の皆さんの参加をいただき、連合会事業を盛り上げていきましょう。



老人クラブのつどいの会場準備の様子

これからの主な行事予定

月	期 日	事 業 名	場 所
8月	9日(金) 予備日21日(水)	軽スポーツ大会 (輪投げ大会)	宇都宮市体育館
9月	10日(火) 予備日13日(金)	軽スポーツ大会 (ペタンク大会)	鬼怒川緑地運動公園 きよはら水辺の楽校
	30日(月)~ 10月2日(水)	老人クラブのつどい (作品展示会)	宇都宮市文化会館
10月	1日(火)	老人クラブのつどい (サークル活動発表会)	宇都宮市文化会館
	29日(火)	老人クラブのつどい (式典等)	宇都宮市文化会館

※諸般の事情により変更になる場合があります。

HIKOUSEN 飛行船

東日本大震災における被災地の支援

岩手県や、福島県の方々へ全国からご支援いただいた物資や自社農場の野菜をお届けしています。この活動と並行して東北で復興を遂げた産品を提供する「物産店」を運営しています。私達は「買う」を通じて東北の生産者を応援しています。

児童養護施設・子ども食堂へ野菜の提供

栃木県内の「児童養護施設」や「子ども食堂」へ毎週無償で野菜を提供しています。

中古農機具・機器の再生と流通

循環型社会の実現へ

枯渇する資源の低減・再利用を目指し、不要となった農機具・機器を修理し再生。農業従事者や新規就農者に安価で提供し、農業推進への寄与も目指しています。

豊かな海を守る

三陸の漁業従事者の販路確保に寄与し、持続可能な形で資源の流通を支援しています。

農業の推進

教育・生涯学習の機会を提供

耕作放棄地を再生させた自社農場で栽培した野菜を、東日本大震災の被災地へ無償提供しています。農場は不登校やひきこもりの青少年の教育・就労支援の場に。老人クラブや各種団体にも開放し、農作物の収穫等を通じた生涯学習の場として提供しています。

編集後記

昨年8月、宇都宮にLRTが開業しました。

全線新設の路面電車が走るの、国内で75年振りだそうです。今後、市民の足となり市内中心部の活性化と渋滞緩和が期待されます。

路面電車と鉄道の違いは様々有るようですが、路面電車は道路を一般の自動車と一緒に走り、鉄道は、道路を走ることが出来ないのが代表的な違いだそうです。

路面電車は、栃木県内では以前、旧日光市の国鉄「日光駅」前から「いろは坂」入り口の「馬返し」まで走っていた事をご存じの方もいらっしゃると思いますが、時代の流れで昭和43年に廃止され、バス路線に変更されました。

現在当時走っていた車両が当時の薄緑とオレンジ色のままで、東武日光駅前のロータリーに静態保存されています。(木村 務)

今年度も楽しく老人クラブに参加させていただいています。お世話になる皆さまには心より感謝です。

先日いつものように単位クラブでの年に一度の日帰りバス旅行がありました。本当に楽しくあっという間に1日が過ぎ…また来年ね～と同行の皆さまと言い合いました。

ミュージアムや食事、道の駅を巡る途中「皆さんは何の団体ですか？和気あいあいと仲良さそうでよいですね」と幹事の私は何度か聞かれました。「そうですか、ありがとうございます！自治会の老人クラブです」と誇らしく返事をします。なかなかそういうお付き合いがない世の中になりつつあるようで…いま住む環境が辛いことを実感しました。

自身の健康に気をつけて、これからも仲間と楽しく暮らしたいものです。(阿部 千恵)

妻から子供達には迷惑をかけられないから「早く終活をしようよ」と何度も云われていたが、その都度何時でも出来るわと今日迄何もして来ず、2人暮らしの私達も何時の間にやら70代、80代を迎えてしまいました。将来の事を考え急遽娘達の家族と一緒に暮らそうと改築する事となり、一時仮住居をする為その引っ越しの準備を始めました。片付けを始めると衣服、本、写真、日常雑貨、備品そして食器類等々不要となった品の多いのびっくり啞然としました。片付け廃棄を懸命にしていますが一向に減らず、妻に云われたあの時終活をしておけば良かったと反省するばかりです。

(新井 勝二)